

# 目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は  ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	社会学研究科
大項目	4 教育研究組織 (研究科)
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KGI) 研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学内外他研究科、研究所との連携	→学内外他研究科とのゼミ交流活動の実施、共同ワークショップ、共同シンポジウム企画の実施/参加回数	A	B	B		
2. 海外の研究機関との連携	→若手研究者海外派遣制度などを利用した大学院生の海外研究拠点への派遣回数・人数	A	B	B		
3. 大学院生の評価、外部委員の評価を取りまとめる大学院教育アセスメント部会などの設置・審議	→大学院教育アセスメント部会の設置の有無および審議回数	B	B	B		
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

### 《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	先端社会研究所主催のリサーチコンペと連携し、研究成果の報告を公開で行なう会を1回、研究計画のプレゼンテーションを公開で行なう会を1回、それぞれ実施した。
目標2	海外研究助成金制度等を利用し、大学院生がオーストラリア国立大学(キャンベラ)に2名、ドイツ日本研究所(東京。ドイツ海外学術研究所財団の傘下の機関)に4名、日本語以外の言語での研究発表を行なうためにそれぞれ派遣された。
目標3	大学院教育アセスメント部会を2回開催し審議を行なった。
備考	